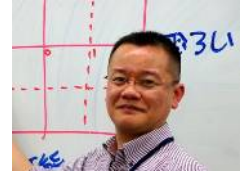


第 24 回 環境情報科学センター賞

＜技術開発賞＞

受 賞 者：坪井塑太郎氏（所属 帝京大学経済学部）

対象業績：地形模型の作成による地域理解の促進に向けた防災教育プログラムの開発



【選考理由】

坪井氏による透明プラスチック容器蓋を利用した立体地形模型教材の作成による地域理解の促進に向けた防災教育プログラムの特徴は以下の3点である。

- ① 低コストで入手容易な身近な部材（透明プラスチック容器蓋）を利用していること。
- ② オープンデータおよびフリーの GIS アプリを使用し、立体的な地形（地図）を作成することで、地域を広域かつ俯瞰的に「見る」・「作る」という工程を取り入れていること。
- ③ 参加者が地域の地形や成り立ちおよび防災・災害対応について深く知り、考える場を提供していること。

このように、本プログラムは地域のリスクを複合的な視点から理解し、防災や減災を自分事としてだけでなく地域の課題として捉えることに貢献する有意義で独創的な技術である。

また、国内だけでなく、発展途上国など海外においても防災教育の重要性が高まるなかで、低コストで安全性への配慮がなされた本技術の汎用性は高いと考えられる。坪井氏自身も学習指導要領に準拠した取り組みとして小学校・中学校・高校において「総合的な探究の時間」などにおける防災教育を行っているほか、大学や外務省・地域自治体・外国等においても同技術の普及・啓発を進めている。その取り組みについては、多くの新聞記事で取り上げられ、注目が集まっている。防災教育としての有用性は、これらの新聞記事でもその一端が伺えるが、さらに、坪井氏は本プログラム実施前後の認識変化について、受講生を対象とした質問紙調査により分析した結果をまとめた報告書において示している。

以上のことより、環境情報科学センター賞選考委員会は坪井氏の「地形模型の作成による地域理解の促進に向けた防災教育プログラムの開発」について、環境情報科学センター賞技術開発賞に十分値するものと判断した。